

2021年6月3日

オルガノン株式会社 女性の健やかな未来への貢献を目指して独立 代表取締役社長に櫻井亮太が就任

オルガノン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：櫻井亮太、以下、オルガノン）は、6月2日（米国東部時間）付でグローバル本社 Organon & Co.（以下、Organon）が Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.（以下、MSD）から分社され、本日6月3日（米国東部時間）に、ニューヨーク証券取引所に上場することをお知らせします。日本法人であるオルガノンも、同日に独立しました。代表取締役社長には、櫻井亮太が就任いたしました。

Organon は、ウィメンズヘルス、長期ブランド製品群、バイオシミラー事業の3つを事業の柱とし、ウィメンズヘルスをはじめ、循環器、呼吸器、皮膚、中枢神経系疾患の領域で60以上の製品を、世界140カ国以上で展開します。世界で約65億米ドルの売上規模があり、そのうち8割近くを米国以外の地域から得ています。またその強固な事業基盤によって、2021年をベースに毎年一桁台前半の有機的成長を見込んでおります。また、Organonの研究開発の理念は、女性がその最善の毎日過ごせるようヘルスケアの課題における幅広い選択肢を見出し、開発し、提供することです。そのグローバルに展開する研究開発力を通じて、女性の健康に最もインパクトのある有望な医薬品や診断機器、デバイスを見出し提供してまいります。Organonは、「すべての女性に、より豊かで、より健やかな毎日を」というビジョンを掲げ、女性の健康にかかわるニーズを傾聴し、女性の幅広いヘルスケアニーズに対してソリューションを提供することによって、女性の健やかな未来に貢献してまいります。

日本では、ウィメンズヘルスのほか、皮膚疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、中枢神経系疾患などの領域において20の製品ブランドを提供してまいります。5月28日付で、オルガノン 代表取締役社長に就任した櫻井亮太は、次のように述べています。「このたび、オルガノンは、ウィメンズヘルスに注力するグローバルヘルスケア企業 Organon & Co.の日本法人として出発しました。私たちの使命は、人々がより健やかな毎日を送ることができるように、価値ある医薬品とソリューションをお届けすることです。日本においては、ウィメンズヘルスと長期ブランド製品群、また将来はバイオシミラー製品の提供を通じて、社会全体を明るく、豊かなものにしていきます。」

オルガノンは、グローバルヘルスケア企業 Organon の日本法人として、日本の患者さんや医療関係者の皆さま、そして社会に貢献してまいります。

以上

Organon について

Organon (NYSE : OGN) は、Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A. の分社により設立された、女性の生涯を通じた健康の向上に注力するグローバルヘルスケア企業です。当社は、60以上の医薬品や製品を世界中にお届けしています。リプロダクティブ・ヘルスをはじめ、拡大するバイオシミラー事業と安定的な長期ブランド製品群での事業展開により、事業開発を含めたウイメンズヘルスにおける成長機会への投資を進めていきます。それに加えて、急成長しているグローバル市場で、オルガノンはそのスケールと存在感を挺に、バイオ医薬品のイノベーターと商業化における協働機会も追求していきます。

Organon は、米国ニュージャージー州ジャージーシティに本社を置き、世界中に事業拠点を構え、約 9,000 名の従業員を有します。詳細については、www.organon.com をご参照ください。また、当社の LinkedIn および Instagram の公式アカウントもご参照ください。

本リリースに関するお問い合わせ

オルガノン株式会社 戦略・コーポレートアフェアーズ

TEL : 03-4335-7100

MAIL : jp_okk_contact@organon.com

参考資料

企業情報

会社名	オルガノン株式会社
所在地	〒107-0062 東京都港区南青山 1-24-3 WeWork Nogizaka
代表電話番号	03-4335-7100
代表取締役社長	櫻井亮太
資本金	1 億円（業務開始日 2021 年 2 月 1 日現在）
親会社	Organon & Co.（米国ニュージャージー州ジャージーシティ） グローバル本社についての概要は、 こちら をご覧ください。
事業概要	医療用医薬品輸入製造販売
設立日	2020 年 3 月 31 日（業務開始日：2021 年 2 月 1 日）
企業ホームページ	www.organon.com/japan

オルガノンが取り扱う製品ブランド一覧

領域	分類	製品
ウィメンズヘルス	不妊症治療薬	ガニレスト®
	経口避妊剤	マーベロン®
	骨粗しょう症治療薬	フォサマック®
呼吸器・皮膚	喘息治療薬	シングレア®
		アズマネックス®
		ナゾネックス®
	抗アレルギー剤	デザレックス®
	男性型脱毛症用薬	プロペシア®
循環器	脂質異常症治療薬	ゼチーア®
		アトーゼット®
		ロスーゼット®
		リポバス®
	高血圧治療薬	プレミメント®
		ニューロタン®
		レニベース®
	抗不整脈薬	ベプリコール®
中枢神経系	抗うつ剤	レスリン®
		レメロン®
		テトラミド®
	抗パーキンソン剤	メネシット®

Organon & Co., Jersey City, N.J., USA の将来に関する記述

Organon & Co., Jersey City, N.J., USA（以下、当社）発行のこのニュースリリースには、米国の1995年私的証券訴訟改革法（the Private Securities Litigation Reform Act of 1995）の免責条項で定義された「将来に関する記述」が含まれています。将来の見通しに関する記述は、「期待する」、「意

「図る」、「予想する」、「計画する」、「信じる」、「求める」、「見積もる」、「予定する」などの言葉や同様の意味を持つ言葉で識別されます。これらの記述は、当社の経営陣の現時点での信条と期待に基づくもので、相当のリスクと不確実性が含まれています。予測が正確性に欠けていた場合またはリスクもしくは不確実性が現実化した場合、実際の成果が、将来に関する記述で述べたものと異なる場合も生じます。

リスクと不確実性には、業界の一般的な状況および競争環境、金利および為替レートの変動などの一般的な経済要因、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的大流行の影響、医薬品業界の規制やヘルスケア関連の米国法および国際法が及ぼす影響、ヘルスケア費用抑制の世界的な傾向、競合他社による技術的進歩や新製品開発および特許取得、承認申請などの新薬開発特有の問題、当社による将来の市況予測の正確性、製造上の問題または遅延、国際経済および政府の信用リスクなどの金融不安、画期的製品に対する当社の特許権やその他の保護の有効性への依存、特許訴訟や規制措置の対象となる可能性等がありますが、これらに限定されるものではありません。

当社は、新たな情報、新たな出来事、その他いかなる状況が加わった場合でも、将来に関する記述の更新を行う義務は負いません。将来に関する記述の記載と大きく異なる成果を招くおそれがあるこの他の要因については、当社が米国証券取引所（SEC）に提出した書類や、SEC のインターネットサイト（www.sec.gov）で入手できる Form 10 の登録届出書で確認できます。